

知床エコツーリズム推進協議会における検討状況・実施状況

知床エコツーリズム推進協議会（平成16年度～）

設置目的：平成16年度から開始された「知床エコツーリズム推進モデル事業」において、地域の意見を汲み上げながら、知床型エコツーリズムの検討を行うために協議会を設置。

メンバー：地域関係団体コアメンバー7者、ワーキングメンバー20者

コアメンバー	ワーキングメンバー	
知床斜里町観光協会 知床温泉旅館協同組合 知床民宿協会 知床羅臼町観光協会 羅臼町旅館組合 知床ガイド協議会 知床財団 (は事務局)	斜里町商工会 斜里第一漁業協同組合 ウトロ漁業協同組合 斜里町農業協同組合 斜里バス 斜里ハイヤー 斜里山岳会 北海道ウタリ協会斜里支部 知床自然保護協会 羅臼町商工会	羅臼漁業協同組合 羅臼遊漁船組合 羅臼町酪農振興協議会 阿寒バス 羅臼ハイヤー 羅臼山岳会 北海道ウタリ協会羅臼支部 羅臼町・知床世界自然遺産協議会 道東観光開発 自然公園財団知床支部

平成16～18年度は行政機関（環境省、林野庁、北海道、斜里町、羅臼町）も参画

成果：平成16年度から平成18年度まで計7回開催

「環境省知床エコツーリズム推進モデル事業での計画策定・事業実施」

平成17年6月 知床エコツーリズム推進計画

平成19年3月 知床エコツーリズム推進実施計画

平成19年3月 知床エコツーリズムガイドライン

平成19年度から平成21年度まで計8回開催

「知床エコツーリズム推進実施計画の基、協議会が事業実施主体となり3カ年の試行」

平成22年2月 知床エコツーリズム推進協議会事業 3カ年の総括

成果の概要：

知床エコツーリズム推進実施計画

平成16年度からエコツーリズムに関する取り組みをまとめ、知床で今後取り組むべきエコツーリズムの推進のための施策について、具体的な目標とビジョンを示した。

実施計画の基、平成19年度からの3カ年、協議会が実行主体となり事業を試行し、その結果から、重点10項目を新たに3つのカテゴリーに再分類を行った。

知床エコツーリズムガイドライン

自然ガイドやガイド事業者が守るべき共通のルール。地域で共有することによって、ガイドの質を維持・向上するとともに、安全管理と自然環境の保全が図られたガイドツアーの実施を推奨するもの。冬季の知床五湖の利用において運用開始。